

令和4年度環境活動報告

部局名： 地域科学部

教育

- 1) 民法:学部専門科目「民法」の授業において、公害事件など環境問題に関する裁判例を扱った。(立石直子教授)
- 2) 地域学実習:再生エネルギー、土地利用、交通、物流など課題についての講義、学生による調査、物流施設視察等を行った。(應江黔教授)
- 3) 専門セミナー:交通、都市計画、自動車とエネルギーなど課題についての講義、学生による調査報告などを行った。(應江黔教授)
- 4) 応用解析学:環境負荷の少ない交通システムの構築にむける課題と解析方法について講義した。(應江黔教授)
- 5) 微分方程式:前学期の毎週金曜日に行われた授業である。猫の繁殖など生物等環境中の様々な現象の変化を数理的に扱う方法についても講義の一部に含めた。
(和佐田裕昭教授)
- 6) 線形代数1:前学期の毎週金曜日に行われた授業である。環境問題を含むあらゆる身の回りの問題を連立方程式によって扱うための基礎を講義した。(和佐田裕昭教授)
- 7) 化学1:前学期の毎週金曜日に行われた授業である。金属、二酸化炭素など環境中のすべての物質に関する量子化学的な取り扱い法のひとつである分子軌道法の入門を講義の一部に含めた。(和佐田裕昭教授)
- 8) 化学実験:前学期の毎週火曜日に行われた授業である。この授業では化学物質による環境汚染を防止するための方策について学ぶとともに、実際に環境汚染防止のための廃液の分別回収などの実践も授業の一部に取り入れて実施した。(和佐田裕昭教授)
- 9) 化学演習:化学実験・演習を通して、環境中の化学物質に関する知識等を教授した。
また、環境汚染防止のための廃液の分別回収などの実践も行った。(橋本智裕准教授)
- 10) 環境マネジメントと環境経営:前期全学共通教育科目「環境マネジメントと環境経営」の講義を一コマ担当(5/2)(三谷晋准教授)
- 11) 社会活動演習:R4年度「社会活動演習」にて、NPO「長良自然楽校」並びに「美濃白川どんぐり会」と協力し、子どもの自然体験教室、紅葉樹の植林活動(【予定】)、大学識者や地元建築事業者を招いての環境・リサイクル問題の勉強会を実施する。
また、これら企画に学生を参加させることを通じて、地域活動や環境教育への理解を深める。(府川純一郎助教)
- 12) 社会活動演習:R4年度「社会活動演習」にて、前期に引き続き、NPO「長良自然楽校」並びに「美濃白川どんぐり会」と協力し、子どもの自然体験教室、紅葉樹の植林活動や説明会を実施した。これら企画に学生を参加させることを通じて、地域活動や環境教育への理解を深めた。(府川純一郎助教)
- 13) 社会活動演習:フィールドワークを通じてまちのデザインや人間行動との関わりについて学習した。(合掌頭教授)
- 14) 環境調査法:環境の測定方法およびそれに関わる人間の心理の測定法について実習を行った。(合掌頭教授)
- 15) 居住環境と心理:身の回りの環境およびそれに関わる人間の心理について講義を行った。(合掌頭教授)
- 16) 環境心理学特論:身の回りの環境およびそれに関わる人間の心理について書籍・論文の講読を行った。(合掌頭教授)
- 17) 専門セミナー:環境心理学に関わる論文・書籍の購読、卒業論文の実験・調査・分析等の指導を行った。(合掌頭教授)
- 18) 地域研究入門:講義「まちを歩く/まちを読む」において「まちのデザインとひと」について講義した。(合掌頭教授)

<p style="text-align: center;">研究</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 研究:太陽光発電を考慮した土地利用と交通の解析の研究を行った。(應江黔教授) 2) 科研費研究集会:科学研究費基盤研究(B)「マルチレイヤー相互依存構造を考慮した交通ネットワークの接続性・可制御性解析」研究会に参加「岐阜市役所会議室5月22日;じゅうろくプラザ6月17日;高知共済会館9月9日」(應江黔教授) 3) 第16回分子科学討論会2022横浜:分子軌道法と機械学習と組み合わせて,化学物質の毒性を予測するソフトウェアの開発に関して発表を行なった。(2022年9月19日) (和佐田裕昭教授,橋本智裕准教授) 4) 第16回分子科学討論会2022横浜:分子軌道法を用いて金属錯体の性質と反応性を研究した結果を発表した。(2022年9月21日)(和佐田裕昭教授) 5) 名古屋大学情報基盤センターGaussian講習会:名古屋大学情報基盤センターにおけるGaussian講習会の講師をつとめ,量子化学計算の方法を用いて,化学現象を研究する方法に関して詳細に説明した。(2022年6月10日) (和佐田裕昭教授,橋本智裕准教授) 6) 「Gaussianセミナー」:Gaussianセミナーの講師をつとめ,量子化学の基礎,分子軌道の解析方法等について詳細に説明した。(2022年7月10日)(和佐田裕昭教授) 7) 辻 雄一郎他編『判例アメリカ環境法』:辻 雄一郎他編『判例アメリカ環境法』(勁草書房,2022年)中の2つの事件の解説担当(三谷晋准教授) 8) 幼稚園児の生き物に対する認知と発達に関する研究:関市内の幼稚園において生き物飼育を依頼し,園児の行動観察や絵画分析を行った。(合掌頭教授)
<p style="text-align: center;">社会連携</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 岐阜市男女共同参画推進審議会:岐阜市男女共同参画推進審議会への出席(7月20日,オンライン開催)(立石直子教授) 2) 岐阜市子ども未来部:岐阜市 子ども未来部 子ども政策課「ぎふ共育・女性活躍企業」認定企業へのセミナー講師(9月22日,ぎふメディアコスモス)(立石直子教授) 3) 日本学術会議委員会:日本学術会議第一部法学委員会(ジェンダー法分科会)への出席(6月13日,8月5日,オンライン開催)(立石直子教授) 4) 瑞穂市地域公共交通会議:みずほバスにおけるホリデーパスの設定について審議した「書面開催2022/8/26」(應江黔教授) 5) 郡上市男女共同参画審議会:郡上市における男女共同参画のための環境整備に関する事項についても,審議会で議論した。(2022年9月9日)(和佐田裕昭教授) 6) 関なかサーチ:関市・地域科学部共催の「関なかサーチ」(高校生対象の関のまちなみ・まちづくりの学修会)のなかで,関市の景観等も含めた資源の魅力を発信するイベントを開催(合掌頭教授・三谷晋准教授・甲斐智大助教) 7) 岐阜・九条の会:「ウクライナ危機から考える日本の政治と憲法」というタイトルで,ウクライナ危機がもたらした日本への影響について,9条改憲論議に焦点を当てて講演を行った。「開催場所:日本キリスト教会岐阜教会,開催日:4月26日」(小牧亮也助教) 8) 岐阜西9条の会:「自衛隊明記改憲にどう向き合うべきか」というタイトルで,9条改憲案として有力視されている自衛隊明記改憲案について,それが登場した歴史的な文脈をふまえたうえで賛否を表明する必要があることを講演した。「開催場所:七郷公民館,開催日:5月29日」(小牧亮也助教) 9) 岐阜・2001年の会:「22年参院選の結果と改憲攻防に向けた課題」というタイトルで,22年参院選後の議席構成をふまえて,今後の改憲攻防における留意点について講演した。「開催場所:円徳寺,開催日:7月28日」(小牧亮也助教) 10) 自由法曹団岐阜支部:「22年参院選の結果と改憲攻防の現段階」というタイトルで,22年参院選後の改憲攻防につき,「改憲の危機」と「改憲論議の危機」という区別を提示したうえで,後者の段階に即した対抗言説を練り上げる必要があることを明らかにした。「開催場所:ハートフルスクエアG,開催日:8月22日」(小牧亮也助教) 11) 岐阜憲法会議・9条センター:「21年衆院選後の政治と憲法を振り返る」というタイトルで,21年衆院選後の政治の動きのうち,ウクライナ危機,参院選,国葬に焦点を当てて,それぞれが抱える憲法問題を明らかにしたうえで,それぞれが憲法改正に向かって連動していることに注意する必要があることを講演した。「開催場所:長良川スポーツプラザ,開催日:11月26日」(小牧亮也助教) 12) 高校生のための街なかオープンカレッジ2022 in 東美濃において,高校生を対象に地域環境に関する講義を行うとともに,地域の魅力や資源を再発見する街あるきを行なった。(富樫幸一特任教授・合掌頭教授・三谷晋准教授・甲斐智大助教)

キャンパスプラン

- 1)教職員に対して、環境や省エネに関する「監視記録(チェックシート)」の報告を実施し、学部内での自己啓発を進め、環境保全と省エネに取り組んだ。
- 2)休憩時間等における消灯、講義室等における消灯・空調確認を行い、省エネの取り組みを行った。
- 3)不要物品の再利用など廃棄物の削減を図った。